



パン 軽食 キッチンカー

当日は、パンなどの軽食、キッチンカー（コーヒー・ソフトドリンク）の販売を予定しています。ホールでのコンサート、ホワイエでのパフォーマンスの合間にぜひお楽しみください！

チケット全席自由（税込）

一日通し券 ▶ 一般 4,000円 / U24 2,000円

各公演単独券 ▶ 2,000円（一般）

車いす一日通し券（付添1名無料）▶ 一般 4,000円 / 単独券 2,000円

高校生以下（小学生以上）無料 ※要事前予約

チケットかながわ TEL.0570-015-415（10:00-18:00）

<https://www.kanagawa-ongakudo.com/>

【窓口】神奈川県立音楽堂（13:00-17:00 ※月曜休） / KAAT神奈川芸術劇場（10:00-18:00）

チケットぴあ

<https://t.pia.jp/>

【Pコード：303-487】



イープラス

<https://eplus.jp/>



ローソンチケット

<https://l-tike.com/>

【Lコード：31893】



販売中

※ ホールプログラムは各公演完全入れ替え制です。

※ ホワイエプログラムは入場券不要です。

※ 未就学児の入場はご遠慮ください。

※ U24、高校生以下、車椅子（付添）は、チケットかながわのみで取扱い。無料券も含め、枚数限定、要事前予約。引き取り方法により手数料がかかります。

※ 営利目的の転売禁止。

2025年8月現在の情報です。やむを得ない事情により内容を変更・中止する場合があります。

開場・開演前に無料シャトルバス運行（往路のみ、所要時間約5分）

●運賃無料 ●予約不要 ●当日先着順

11/16（日）JR（桜木町駅前）出発時間

①14:15 / ②14:45 / ③15:45 / ④16:15 / ⑤17:15 / ⑥17:45

タクシー降車場奥「貸切バスのりば」より発車（「神奈川県立音楽堂」掲示があるバスです）



シャトルバス

木のホール

神奈川県立音楽堂

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2

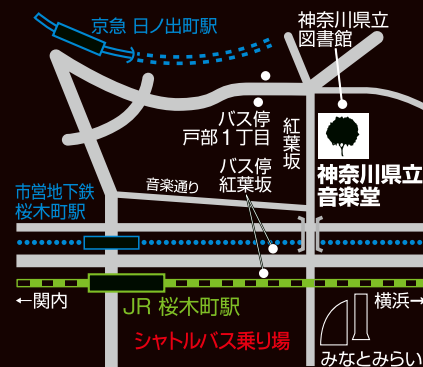
チケットかながわTEL.0570-015-415（10:00-18:00）

<https://www.kanagawa-ongakudo.com/>

■ JR「桜木町」駅（南改札西口、北改札西口）・市営地下鉄「桜木町」駅（南1番出口）から徒歩10分

■ 京浜急行「日ノ出町」駅から徒歩13分 ■ みなとみらい線「みなとみらい」駅から徒歩20分

Facebook 神奈川県立音楽堂 X @Kana_Ongakudo Instagram @kanagawa_ongakudo



tic!

大人のための音楽堂

tac!

チック・タック・トー

toe!



いのちの響きのなかで
サンゴ・ガムラン神楽



15:00
ピアノカルテットで聴く“ロック”
1966カルテット

クラシックの名曲、洒落たジャズ、
心ほどける地球の響き…

ジャンルレスなサウンドと共に
あなたの楽しみがみつかる一日

2025 11/16（日） 14:15開場 / 15:00開演
19:30終演（予定）

木のホール 神奈川県立音楽堂 〒220-0044
横浜市西区紅葉ヶ丘9-2

TICKET

【全席自由（税込）】

一日通し券：一般 4,000円 / U24:2,000円
各公演単独券：2,000円（一般）
高校生以下（小学生以上）無料 ※要事前予約

■ チケットかながわ 0570-015-415（10:00-18:00）

<https://www.kanagawa-ongakudo.com/>

（窓口）神奈川県立音楽堂（13:00-17:00 ※月曜休）

KAAT神奈川芸術劇場（10:00-18:00）

キッチンカーによる
軽食・ドリンク販売あり！

公演情報は
こちらから



※ 2025年8月現在の情報です。やむを得ない事情により内容を変更・中止する場合があります。
主催：神奈川県立音楽堂（指定管理者：公益財団法人神奈川芸術文化財団）



16:30
クラシック界のホープによるクールデュオ
ダブルタツキ



18:00
フレンチジャズの貴公子
トーマス・エンコ

©Julien Benhamou

開 場

1966カルテット

1966 QUARTET, Piano Quartet

曲目

- ビートルズ：レット・イット・ビー
- クイーン：ボヘミアン・ラブソディ 他





クラシックのテクニックをベースに洋楽のカバーで唯一無二のサウンドを展開。彼女たちならではの“ピアノ・カルテットで聴くロック・スピリッツ”

松浦梨沙(ヴァイオリン) Risa Matsuura 花井悠希(ヴァイオリン) Yuki Hanai
井上文乃(チェロ) Ayano Inoue ※ 増田みのり(ピアノ) Minoru Masuda

2010年、日本コロムビアよりCDデビュー。ビートルズが来日した「1966年」をグループ名に冠したピアノカルテット。2021年にはキングレコードへ移籍。2023年1月20日には、フランス・パリにて、世界的ファッションブランドKENZOの2023-24年秋冬ウィメンズ&メンズコレクションに出演。The Beatlesの楽曲を鮮やかに奏で、その圧倒的な演奏が聴衆を魅了した。ジャンルの枠を超えた挑戦を重ねながら、全国各地で精力的にコンサート活動を展開し、独自のサウンドを届け続けている。2025年8月27日(水)には、デビュー 15周年を記念したアルバム『COVER OF COVER』と『THE SET LIST』を同時リリース予定。

※本公演では伊藤利英子(チェロ)に代わり、サポートメンバーの井上文乃がチェロを演奏いたします。あらかじめご了承ください。

終 演 ・ 休 憩

開 場

ダブルタツキ

Double Tatsuki, Violin & Cello

曲目

- ヴァスクス：靈魂の城
- 一柳慧：デュオ・インターチェンジ 他





クラシック界の最前線を走る俊英、二人の「タツキ」によるデュオ。音楽堂での特別なプログラムは必聴！

成田達輝(ヴァイオリン) Tatsuki Narita
2010年ロン＝ティボー国際コンクール第2位、2012年エリザベート王妃国際音楽コンクール第2位。その超絶技巧と詩情豊かな音楽性に「バガニニの再来」とフランス紙で評された。国内外の指揮者・オーケストラと共演し高い評価を得るとともに、リサイタルや室内楽においても圧倒的なテクニックと多彩な表現力を披露。現代作曲家とのコラボも得意とし、2022年9月には坂本龍一のプライベート録音に参加し「ソナタ」等を演奏。使用楽器は、ストラディヴァリウス“Tartini”（宗次コレクションより貸与）。

笹沼 樹(チェロ) Tatsuki Sasanuma
学習院大学卒業後、桐朋学園大学大学院修了。エコール・ノルマル音楽院エリートコース修了。現在は、ベルギー・エリザベート王妃音楽大学 アーティスト・イン・レジデンス在籍。カルテット・アマビレとしてミュンヘン国際音楽コンクール第3位入賞及び特別賞。ソリストとして第65回全日本学生音楽コンクール第1位。第20回斎藤秀雄メモリアル基金賞受賞。ラ・ルーチェ弦楽八重奏団、カルテット・アマビレ、Trio Rizzleのメンバー。東京交響楽団客演首席チェロ奏者。宗次コレクションより1771年製C.F.Landorfiを貸与されている。

終 演 ・ 休 憩

開 場

トーマス・エンコ(ピアノ)

Thomas Enhco, Piano

曲目

- モーツァルト&エンコ：ラクリモーサ
- モーツァルト&エンコ：
アイネ・クライネ・ナハトムジーク 他





“フレンチ・ジャズ界の貴公子”新譜〈モーツァルト・バラドックス〉をひっさげ来日！
幻想的な色彩と大胆なタッチ、心地好い崩し。
美しい音色に満たされる、至高のピアノ時間によこそ！

1988年パリ生まれ。幼少期よりヴァイオリンとピアノでクラシック音楽の基礎を学び、CMDLおよびパリ国立高等音楽院で研鑽。Verve、ドイツ・グラモフォン、ソニー・ミュージックなどから作品を発表し、年間100公演以上を世界各地で行う。主なアルバムに《Feathers》《Bach Mirror》《Thirty》《A Modern Songbook》などがある。クラシック奏者として国内外の主要オーケストラと共演し、自作の協奏曲や交響曲も手がける。映画音楽や室内楽作品も多数発表し、SACEMジャズ大賞など受賞歴多数。ジャズ・ピアニストとしてもソロやトリオ、デュオ形式で活動し、クラシックと即興を融合させた独自のスタイルで高く評価されている。

終 演

14:15

15:00

16:00

16:10

16:30

17:30

17:40

18:00

19:00

14:30

奉納演奏「神迎え」



彩 愛玲(ハーブ) Sai Ai Ling

台湾系華僑3世。在学中より国内及びアメリカ、スウェーデン、中国、韓国、台湾などで演奏。根源的な音を求めZENHARP創設。国立音楽大学、東京藝術大学別科修了。篠崎史子氏に師事。

15:00

珊瑚ガムラン曼荼羅



パラグナ・グループ(ガムラン) PARAGUNA

1985年結成。インドネシア・スンダ(西ジャワ)音楽のグループとして、東京を拠点に演奏活動を行っている。古典曲の他、現代曲にも精力的に取り組んでいる。
YouTube: PARAGUNA



リアント(舞踊) Rianto

インドネシア国立芸術大学舞踊科スラカルタ校卒業後、五大陸 30ヵ国で舞踊を披露。故郷バニユマスの伝統舞踊レンゲルや文化遺産を保存、継承する活動を精力的に行っている。



川島未末(舞踊) Miku Kawashima

インドネシア国立芸術大学やマンクヌガラ王宮で舞踊の研鑽を積む。2006年デワンダルダンスカンパニーを設立。靖國神社、湯島天神、根津神社にてジャワ舞踊を奉納。

16:00

喜界島シマ唄ライブ



川畑さおり(喜界島シマ唄) Saori Kawabata

鹿児島県喜界島出身・在住。シマ唄活動が高く評価され平成25年高円宮殿下記念表彰受賞、平成28年鹿児島県芸術文化奨励賞受賞。令和7年日本民謡協会公認「民謡アンバサダー」に就任。

17:00

能楽「俊寛」から



清水寛二(鎧仙会) Kanji Shimizu

1953年生 観世寿夫・八世観世鎧之丞らに師事『長崎の聖母』など新作能も上演。『青山実験工房』など他ジャンルとも協働。

17:30

珊瑚ガムラン曼荼羅

パラグナ・グループ(ガムラン)、リアント+川島未末(舞踊)

19:00

奉納演奏「神送り」

彩 愛玲(ハーブ) Sai Ai Ling

■ サンゴ・ガムラン神楽

サンゴ礁の隆起によって生まれた喜界島は、島全体がサンゴのかたまりです。その喜界島から採取されたサンゴの骨格から発生した音響がサウンドインスタレーションとして音楽堂のホワイエ全体に広がります。そのホワイエの一角に置かれた「フムラー」とよばれるサンゴの石を神座に見立て、ハーブによる奉納演奏に始まり、ジャワ舞踊をともなうサンゴ音響とガムラン演奏による《珊瑚ガムラン曼荼羅》(藤枝守作曲)、喜界島に因んだ能楽「俊寛」の一節による謡、喜界島のシマ歌などの多彩な演目が、神楽仕立てのなかで展開していきます。喜界島のサンゴの骨格のなかに封印された音響に耳をかたむけながら、謡やシマ歌の声、そして、ガムランの響きや舞を通じて、サンゴの「いのち」にめざめるひとときとなるでしょう。



■ 藤枝 守(作曲・構成) Mamoru Fujieda

作曲を湯浅譲二やモートン・フェルドマンらに師事。植物の電位変化データによる《植物文様》を展開。現在、喜界島サンゴ礁科学研究所を拠点にサンゴ音響によるアートプロジェクトを展開。九州大学名誉教授。Ph.D. in Music (University of California, San Diego)。

企画構成：藤枝 守
制作協力：喜界島サンゴ礁科学研究所Coral Sound Lab
協力：総合地球環境学研究所SceNEプロジェクト
音 響：磯部英彬